

EA712B - 11
(デジタルポケット型照度計)

1] 使用上の注意

- ▶ 受光窓を汚したりキズ付けたりしないでください。もし受光面が汚れてしまった場合には乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ▶ 測定中照度センサプローブのコードを動かすと表示値が変動することがあります。特に低照度の測定の際にはコードが動かないように注意してください。
- ▶ 本器は受光窓の乳白色ドームの先端が照度基準面となっております。
- ▶ 本器は操作終了30分後にオートパワーセーブとなります。オートパワーセーブ後に電源を入れ直す場合は、一度レンジ切替スイッチを1秒間以上「OFF」の位置へ戻してから操作を行ってください。
- ▶ 使用後は必ずレンジスイッチを「OFF」に戻してください。

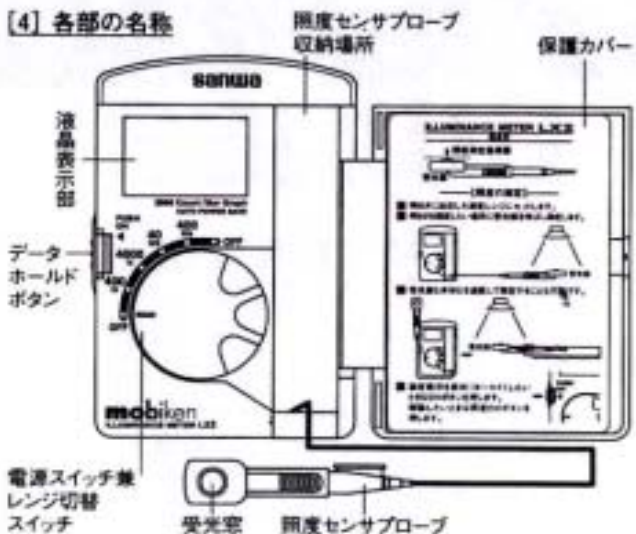
2] 用途

- ▶ 本器は携帯性、操作性、コストパフォーマンスに優れたポケットサイズのデジタル照度計です。
- ▶ 単な操作方法で日常生活環境での明るさのチェックからオフィス、工場内の照度保守管理や農業林業などの照度管理まで幅広く手軽に測定できる照度計です。

3] 特長

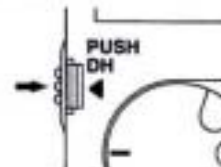
- ・携帯に便利なポケットサイズ。
- ・本体と分離した小型スティック形受光部(受光径9mmφ)使用により狭い場所や微小面積の照度測定が可能です。また本体に受光部を固定しての使用も可能です。
- ・3999カウント、バーグラフ表示付き。
- ・照度センサに、CIE(国際照明委員会)の比視感度に近似した分光感度を持つシリコンフォトダイオードを使用して照度計としての精度の向上をはかっています。
- ・測定範囲0.1lx~399.9klx(399900lx)
- ・データホールド機能付き。
- ・無駄な電池消費を防ぐオートパワーセーブ機能付き。

4] 各部の名称

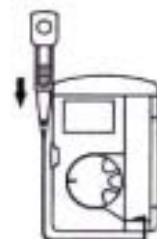


5] 機能説明

- 電源スイッチ兼レンジ切替スイッチ
このロータリースイッチで電源のON/OFFおよび400lx、4000lx、40klx、400klxレンジの切り替えをおこないます。
- 電池消費警告表示
内部電池が消耗し電池電圧が低下すると表示器に「DH」マークが点灯します。「DH」マークが点灯したら新しい電池と交換してください。
- データホールドボタン(保護カバーロック兼用)
測定中にこのボタンを押すと数値表示およびバーグラフ表示が保持状態になり、表示器にDHマークが点灯します。再度、ボタンを押すとデータホールドは解除され、表示器のDHマークも消灯します。



- 照度センサプローブの固定方法
本体左上部の固定位置に照度センサプローブを図のように差し込みます。



- 本体蓋の開閉方法

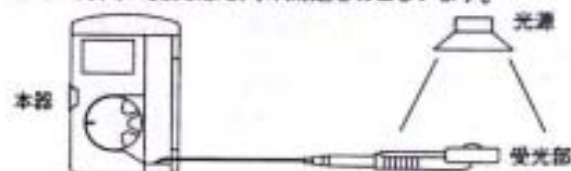
1. 保護カバーを開ける場合、本体左側にあるボタンを図に示す方向へ押しながら保護カバーを開けます。
2. 閉める場合は照度センサプローブを収納の方法に従い収納した後、保護カバーを閉じロックさせます。



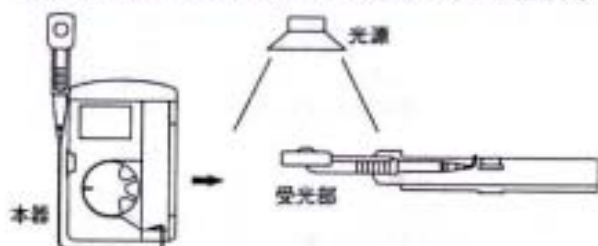
① 測定方法

① 測定手順

- 測定レンジを明るさに対応したレンジにセットします。
- 明るさを測定したい場所まで照度センサプローブを伸ばし測定したい方向に受光窓を向け測定をおこないます。



また、受光部と本体とを連結して測定することも可能です。



- 測定終了後、レンジスイッチを「OFF」に戻します。

- 設定の測定レンジの最大値を超える光を入射すると表示がオーバー表示となります。

オーバー表示: 「4000」最上位桁の「4」点滅

- 本器は受光窓の乳白色ドームの先端が照度基準面です。

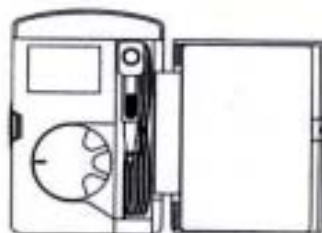


注) 本器は操作終了30分後にオートパワーセーブとなります。オートパワーセーブ後に電源を入れ直す場合は、一度レンジ切換スイッチを1秒間以上OFFの位置に戻してから操作を行ってください。

◎ 照度センサプローブの収納方法

下図のように照度センサプローブを本体に収納してください。

1. 照度センサプローブの受光面を上にして収納スペースに入れます。
2. 照度センサプローブの右横のスペースにコードを折り曲げ収めます。



[7] 保守管理について

精度維持のため年に1回以上は校正、点検を実施してください。

1. 保守点検

1) 外観

- ・落下などにより、外観が壊れていないか?

2) 照度センサプローブ

- ・受光窓がキズ付いていたり破損していないか?
- ・照度センサプローブのコードが傷んでいないか?

以上の項目に該当するものはそのまま使用せず修理をご依頼ください。

2. 校正

校正、点検については三和M.I.テクノス(株) サービス課までお問い合わせください。

3. 内蔵電池の交換

交換方法


- 1 電池蓋のネジをプラスドライバーではずす。
- 2 電池蓋をはずし消耗した電池を取り出す。
- 3 +、-の極性を間違えないように注意し新品の電池と交換します。
- 4 電池蓋を取り付けネジ止めします。



4. 保管について

- パネル、ケース等は揮発性溶液や熱に弱いためシンナーやアルコール等で拭いたり高熱を発するもの(はんだごて等)の近くに置かないでください。
- 振動の多い場所や落下の恐れがある場所には保管しないでください。
- 直射日光下や高温または低温、多湿、結露のある場所での保管は避けてください。
- 長期間使用されない場合は内蔵電池を必ず抜いてください。

仕様

受光素子	比視感度近似Siフォトダイオード
表示	数値部:3999カウントデジタル表示 バーグラフ部:42セグメント表示
オーバー表示	「4000」最上位桁の「4」点滅
電池消耗表示	内部電池が消耗し電池電圧が低下したとき 表示器に  マークが点灯
サンプルレート	数値部:約2回/秒 バーグラフ部:約20回/秒
光パワー測定範囲	0.1lx~399.9klx
測定レンジ	400lxレンジ(0.1lx~399.9lx)
	4000lxレンジ(1lx~3999lx)
	40klxレンジ(0.01klx~39.99klx)
	400klxレンジ(0.1klx~399.9klx)
測定精度	±(7%rdg+1dgt) 3000 lx以下
	±(10.5%rdg+1dgt) 3000 lx超 (JIS規格一般形A級相当、証明取引外製品)
	23℃±2℃において
温度特性	±5% (23℃基準、0~40℃において)
相対分光感度特性	標準比視感度に近似
機能	データホールド機能
	オートパワーセーブ機能(操作終了30分後)
電源	SR-44またはLR-44 ボタン電池x2
消費電力	約10mW
使用温湿度範囲	温度0℃~40℃湿度80%RH以下 結露のないこと
保存温湿度範囲	温度-10℃~50℃湿度80%RH以下結露のないこと
本体寸法・重量	117(H)x76(W)x18(D)mm、約120g ¹
照度センサプローブ	84(H)x16(W)x10(D)mm
コード長	約0.9m
付属品	取扱説明書 1

ここに記載された製品の仕様や外観は改良等の理由により予告なしに変更することがありますのでご了承ください。